

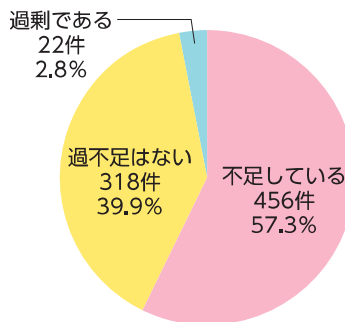
人手不足の状況および外国人材の雇用に関する調査結果

中小企業にとって人口減少に伴う労働力不足が大きな経営課題となっており、人手不足の状況や外国人材の雇用状況、課題等について調査しました(姫路市委託事業)。本号では主な調査結果をお届けします。

人手不足の状況について

1. 現在の人員の充足状況

(n=796)

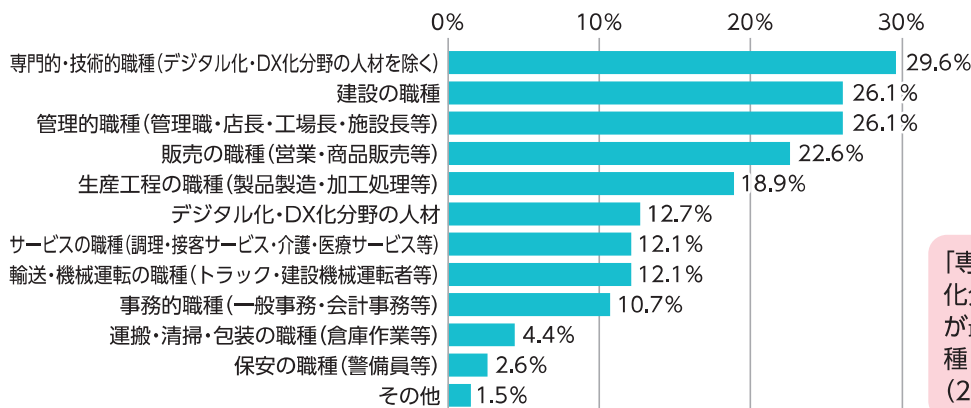


「不足している」(57.3%)の割合が最も高い。



2. 人手が不足している職種

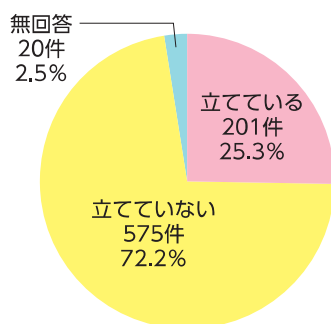
(n=456 複数回答)



「専門的・技術的職種(デジタル化・DX化分野の人材を除く)」(29.6%)の割合が最も高く、「建設の職種」「管理的職種(管理職・店長・工場長・施設長等)」(26.1%)と続いている。

3. 将来の人材確保に向けた対策

(n=796)

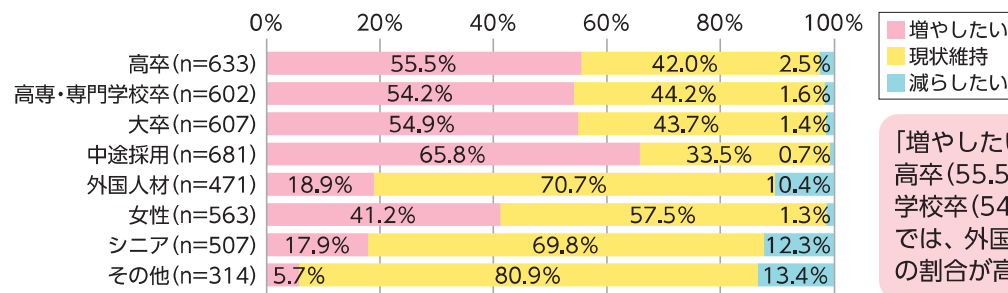


対策の立案状況について、「立てっている」は25.3%、「立てていない」は72.2%。



4. 将来の人材確保に向けた中長期的な計画(採用等)

(複数回答)



「増やしたい」では、中途採用(65.8%)、高卒(55.5%)、大卒(54.9%)、高専・専門学校卒(54.2%)の割合が高い。「現状維持」では、外国人材(70.7%)、シニア(69.8%)の割合が高い。

調査概要

- 調査対象
姫路商工会議所・姫路市商工会の会員事業所
- 調査期間
2024年8月28日～2024年9月13日
- 回答状況

発送数	回答数	回答率
3,135事業所	796事業所	25.4%

規模別構成比

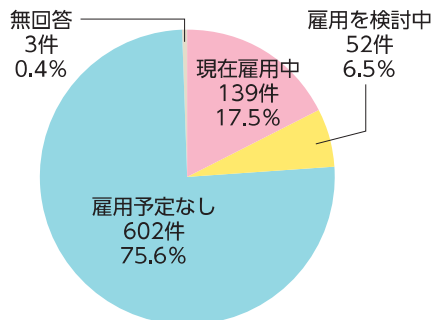
	件数	構成比
小規模	331	41.6%
中規模	418	52.5%
大規模	47	5.9%
合計	796	100.0%

業種別構成比

	件数	構成比
建設業	209	26.3%
製造業	181	22.7%
卸売業	95	11.9%
小売業	60	7.5%
サービス業	113	14.2%
その他	138	17.4%
合計	796	100.0%

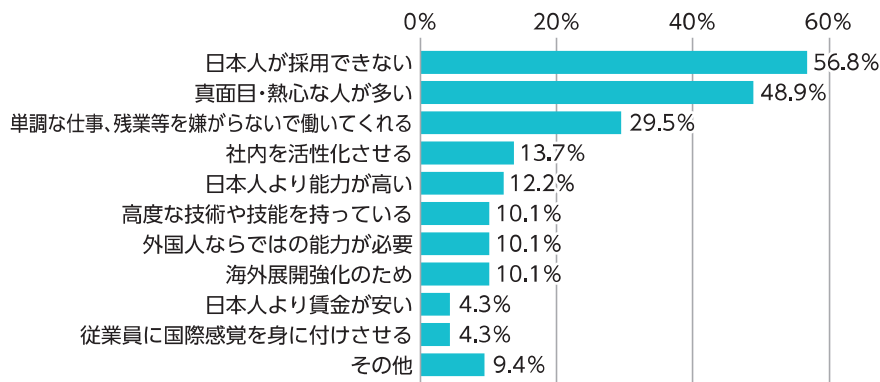
外国人材の雇用について

1. 外国人材の雇用状況 (n=796)



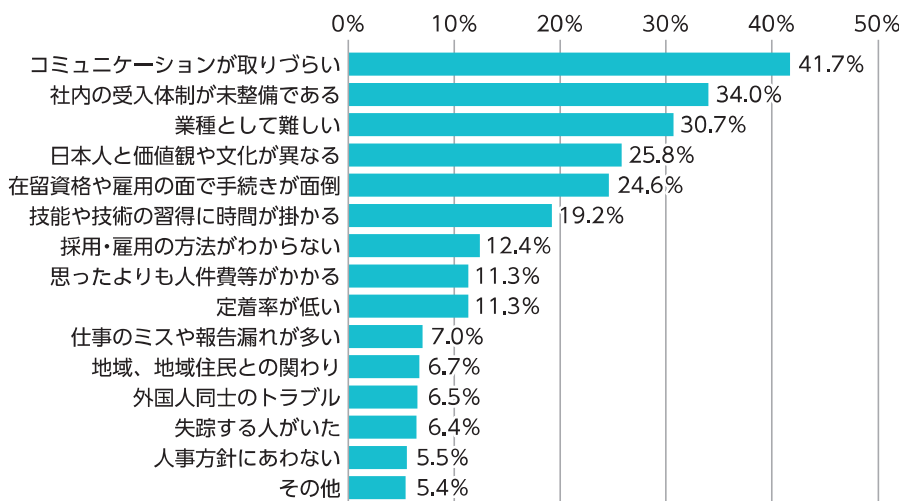
「現在雇用中」(139件、17.5%)、
「雇用を検討中」(52件、6.5%)。

2. 外国人材を雇用する理由 (n=139 複数回答)



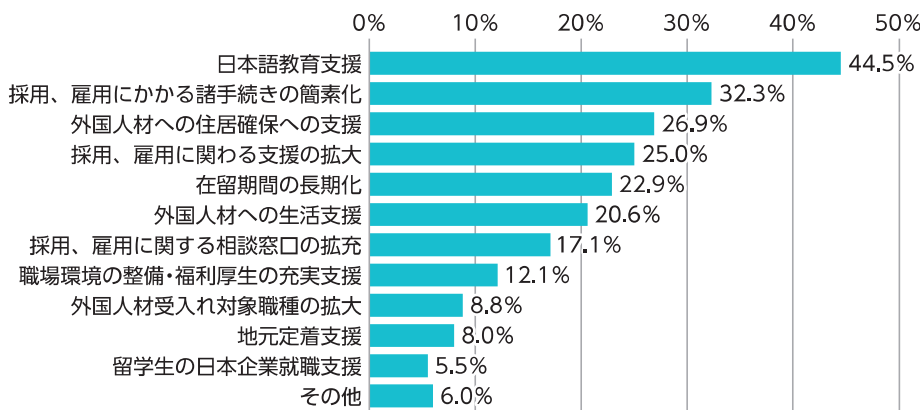
「日本人が採用できない」(56.8%)の割合が最も高く、「真面目・熱心な人が多い」(48.9%)、「単調な仕事、残業等を嫌がらないで働いてくれる」(29.5%)と続いている。

3. 外国人材を雇用して困った点(課題と考えられるもの) (n=796 複数回答)



「コミュニケーションが取りづらい」(41.7%)の割合が最も高く、「社内の受入体制が未整備である」(34.0%)、「業種として難しい」(30.7%)と続いている。

4. 行政機関等に求める支援策 (n=796 複数回答)



「日本語教育支援」(44.5%)の割合が最も高く、「採用、雇用にかかる諸手続きの簡素化」(32.3%)、「外国人材への住居確保への支援」(26.9%)と続いている。